

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

本大会は2012年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- イ) 競技場は全天候舗装である。なお、スパイクピンは11本以内で長さは9mm以下とする。ただし、走高跳およびやり投の場合は12mm以下とする。
- ロ) 更衣室はスタンド中段のトイレ横を使用すること。また、荷物は各大学で責任をもって管理すること。盗難・紛失について主催者で受領した物品については学連本部で一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、大会中の忘れ物は本連盟にて1ヶ月保管した後、申し出のないものについては処分する。メールにて問い合わせること。
- ハ) カメラやビデオなどでの撮影は許可のないものはスタンド以外禁止とする。学生については原則として所属する大学のジャージを着用して撮影すること。
- ニ) 競技会において競技者はビデオ、音楽機器、ラジオ、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内へ持ち込んではいならない。

3. ナンバーカードについて

- イ) ナンバーカードは学連登録時に配布している正規のもの2枚を胸部と背部に確実に着けること。ただし、走高跳と棒高跳の場合はどちらか一方でもよい。
- ロ) トラック競技の場合は腰ナンバーカードをつける。腰ナンバーカードは召集所で受け取り、レース終了後フィニッシュ付近にて係員に返却すること。

4. 招集について

- イ) 競技者招集所は第1倉庫（1500m スタート付近）西側に設置するので、事前に確認すること。
- ロ) 招集時間は下記の通りとする。

		招集開始	招集完了
トラック	競技開始	40分前	20分前
フィールド (棒高跳を除く)	競技開始	50分前	30分前
男子棒高跳	競技開始	100分前	80分前
女子棒高跳	競技開始	70分前	50分前

- ハ) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。
- ニ) リレーオーダー用紙は主催者が用意し、事前に配布したものを使用する。リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙を競技開始60分前までに競技者係に提出すること。

5. 棄権について

当日、やむなく棄権する場合は棄権届（大会本部に用意）に必要な事項を記入し、捺印をしたものに、棄権料500円を添えて大会本部に提出すること。ただし、代表者会議で棄権を申し出た場合は、棄権料は徴収しない。棄権届けを提出せずに棄権した場合は、その競技者の本大会での他種目への出場を認めず、今後の大会等にペナルティを与えることがある。召集に遅れた場合もこれに順ずる。

6. 用器具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、検定に合格したものに限り、個人所有のものが使用できる。円盤とやりの検定は、競技開始60分前から、第4倉庫前にて行う。棒高跳用のポールの検定は、競技開始前に跳躍ピットにて行う。

7. ウォームアップについて

ウォームアップは、開門から競技開始20分前まで競技場内で行うことができる。これ以降は競技の妨げとならないことを条件にバックストレートでのウォームアップを認める。ただし、芝生内でのウォームアップは大会運営に支障が出るため、禁止とする。また、競技役員の指示があった場合は、それに従うこと。

8. 競技について

イ) 三段跳の踏切位置について

三段跳の踏切位置は男子12m、女子10mとする。

*三段跳の踏切位置は該当審判員または、審判長の判断で変更する場合がある。

ロ) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は下表の通りとする。

	練習A	練習B	練習C	1	2	3
男子走高跳	1 m 7 0	1 m 9 0	—	1 m 7 5	1 m 8 0	1 m 8 5
女子走高跳	1 m 4 0	1 m 6 0	—	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 5 5
男子棒高跳	3 m 9 0	4 m 6 0	5 m 0 0	4 m 0 0	4 m 2 0	4 m 4 0
女子棒高跳	2 m 7 0	3 m 2 0	—	2 m 8 0	3 m 0 0	3 m 2 0

4	5	6	7	
1 m 9 0	1 m 9 5	2 m 0 0	2 m 0 3	以後 3 c m
1 m 6 0	1 m 6 5	1 m 6 8	1 m 7 1	以後 3 c m
4 m 5 0	4 m 6 0	4 m 7 0	4 m 8 0	以後 1 0 c m
3 m 3 0	3 m 4 0	3 m 5 0	3 m 6 0	以後 1 0 c m

第1位決定試技の際のバーの上げ下げは走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

第1位が決まった後にバーを上げる場合、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。

ハ) 投擲競技について

競技運営上、砲丸投を除く投擲競技において投擲練習は1人2投までとする。

ニ) 計時・計測について

トラック競技の計時は、写真判定機を用いて行う。(1/100秒)

ホ) 給水について

男女3000mについては天候に応じて主催者が水とスポンジを用意する。

ヘ) ピットについて

男子走幅跳・女子走幅跳・男子三段跳のピットの位置は、Aピットをスタンド側、Bピットをトラック側とする。

ト) 男子100m決勝について

男子100mのみA・B決勝を行う。男子100m決勝は上位1～8名をA決勝、上位9～16名をB決勝にてレースを行う。決勝レースについてはB決勝・A決勝の順に行なう。決勝一覧にはA決勝の結果のみ記載する。

9. 応急処置について

競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。ただし、2012年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

10. 抗議と上訴について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、規則第146条に基づきその競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内（次ラウンドのある場合は15分以内）に、担当総務員を通じて口頭で審判長になされなければならない。審判長の

裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は抗議申立書と委託金10,000円を添えて上訴する。この委託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

1 1. 競技場の清掃について

各大学で出たゴミは各自で持ち帰り、使用した場所は清掃して帰ること。また、競技終了後の清掃について、担当大学を平成24年4月6日（金）の代表者会議で指名する。

1 2. 競技場の開門について

競技場の開門時間は8時とする。代表者会議にて決定した入場順に従って入場すること。入場口は片側に限り、大会役員の指示に従うこと。

以上の事柄および今大会の規則については、大会役員の協議が最終決定権を持ち、これは変更になる場合もあるので、アナウンスや掲示板に注意すること。また、学生競技者としてのマナーに逸脱するような行為があった場合は、処罰を与える。